

2017 YACC 笹口浜例会報告

会員 No : 44 小関清夫 記

参加者：市村、佐藤（正）F、原田、小関、山本、太田 F、
小田ジマ、長谷川、岩根 F の 9 家族

7/15～17、恒例の笹口浜例会が行われました。参加
総数 9 家族、お子チャマ 3 名参加の久しぶりの賑やかなフ
ァミリーキャンプとなりました。

7/15、仕事もソコソコに p m 1 : 3 0 出発。小国の道
の駅近郊で、日頃の睡眠不足で瞼がくっつきそうになり
道の駅で約 3 0 分仮眠。すっかり元気を取り戻し「関川道
の駅」で露天風呂を堪能。買い物を済ませ夕刻原着。

先発組の市村、岩根 F により既に宴会場設定してあり、
まずはビールで乾杯。天気予報大外れの梅雨明けを思わせる
夏空のもとサンセットを堪能。太田 F にコマセの白ワイ
ンを振る舞う。ニッコリご満悦の様子でなによりでした。
このコマセが翌日の「地獄の守備隊」の予兆となることは
知る由もなし。三々五々、会員が集合し夏空の元、楽しい

語らいの一夜は更けていったのでした。

7/16 曇り時々雨、夕刻豪雨＋暴風雨、夜曇り。

忙しい天候の一日となりました。朝食を済ませ山本会員は、テトラの沖合をそっと望遠鏡でのぞき込み行き方不明となる。岩根夫人は海の収穫物を得るべく山本会員らしき人影を追って、近場のテトラに向かって行った（逞しい奥方です）。

小生は昼のソーメンパーティーの準備に取り掛かり、ガスバーナー設置、新調したダッジオーブンテーブルの設置点検、大鍋、ざる、食材の準備に取り掛かった。程なくして岩根夫人がこっそりと粒貝の収穫物を隠し持って現れた。

「山本さんいないよ。海は底荒れが強く、視界20～30cmでよく見えない」との事であった。「食材たりるかな～?」。程なくして山本会員、ネット2個に一杯の食材（ムール貝、とこぶし、粒貝、子蟹 など）をゲットし颯爽と現れた。その顔には「どないや！」とばかりの誇らしい顔付きが垣間見られていた。「流石は浜の人！」と思わず絶賛したのは当然の事であった。

恒例となったソーメンパーティーは岩根夫人の沢山の具がタツプリ入っており大好評で用意した石黒ソーメン一箱はアツという間に完売となった。山本会員は夕刻のパーティーに備えて仕込みに入った。

夕食前に一風呂浴びようと、新入りの太田会員を留守要員として残し、いつもの石油臭の香ばしい？温泉に車2台分乗にて出かけた。途中から雨風が強くなるも、ユックリ温泉を堪能後、太田会員より緊急連絡。「オーニングが暴風雨で大変な事になっている。至急来援頼む！」。ただならぬ雰囲気には会長、市村、小生で直ちに駆けつける。キャンカーの市村、岩根氏の連結したオーニングはまさに雨の重量と風雨で倒壊寸前の状況となっていた。オーニングの連結金具も一部屈曲し、さながら地獄の戦場の中、両手でオーニング必死に太田氏が倒壊しないように死守している様は圧巻であった。全員でオーニングに溜まった大量の雨を除水し事なきを得た。太田会員の身を挺した活躍に一同大いに敬意を表したことは言うまでもない。レスキュー隊は全員、雨のシャワーで2度目の入浴を楽しむ事となった

のである。お陰様で翌朝の帰宅時には無時オーニング収納もでき事に深謝。

夕刻より天候も回復し、恒例の大宴会の幕開けとなる。今回は山本会員の大活躍は特筆ものであった。この日に備えて、連日の早朝のアジ釣りで食材を備蓄し、空揚げ、串焼き調理提供して頂いた。当日のムール貝のスープ、粒貝の塩ゆでは浜キャンプを満喫するにはとっておきのオモテナシであった。白ワインが美味しい！この場をお借りしてお礼を申し上げさせていただく（来年も宜しく！）。

7/17 晴れ。すっかり天候は回復し濡れ物の収納には絶好の天候となった。朝食を済ませ、集合写真撮影後解散となった。それにしても太田Fの荷物の多いこと！布団やらマットレスやら車は荷物でパンパンの状態であった。将来トレーラーの購入をお勧めし積立貯金に精を出すようにアドバイスし会場を後にしたのであった。







